

広中央中学校区小中一貫通信

令和4年度 No. 1
令和4年9月15日発行
発行者：広中央中学校区
(広中央中・広小・三坂地小)

広中央中学校区の小中一貫教育

新しい学習指導要領が全面実施となり、小学校では3年目、中学校では2年目を迎えました。この新学習指導要領において、激しく変化するこれからの新しい時代に必要となる資質・能力の育成や義務教育9年間を見通した教育課程や取組等が求められています。

広中央中学校区においても中学校区で学校教育目標を「学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの児童生徒の育成」とし、育成を目指す資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」「自尊心・協調する力」と設定して、足並みを揃え、研究を進めています。

今年度は、5月25日(水)に広小学校で、令和4年度広中央中学校小中一貫教育推進協議会合同研修会(総会)を開き、研究主題や今年度の推進計画等を確認しました。

今年度の研究主題は、「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成ー課題発見・解決学習と体験活動の推進を通してー」です。この研究主題に迫るべく、中学校区で様々な取組を進めて参ります。今回は、これらの取組の中から、合同研究授業と乗り入れ授業について紹介します。



第1回小中合同研究授業

6月23日(木)に、三坂地小学校4年1組中間亮太教諭による国語科「走れ」の研究授業を行いました。感染拡大防止のため、広中央中学校、広小学校の職員は後日各校でのビデオ研修となりましたが、授業参観後、児童が深く思考していたか、児童の思考を深めるための場の設定は適切であったか、教師の発問や支援は効果的であったか等について協議を行いました。また、協議会后には、呉市教育委員会学校教育課小林良子指導主事様より指導助言をいただきました。児童の思考を深めるための板書の大切さや、発問と指示の違い等について助言をいただきました。

今回の研究授業を通して学んだことを日々の授業に生かしていきます。



乗り入れ授業

呉市では、5、6年生の学級が原則7学級以上ある中学校区に小中一貫教育推進加配講師が措置され、円滑に乗り入れ授業が進められるようになっていきます。本中学校区もこの加配を受け、小・中の学びをつなぐため、中学校教員による小学校への乗り入れ授業を行っています。

今年度は小学校5、6年生の体育科の授業で、中学校の体育科の教員が専門性を生かして指導を行っています。

また、今後、中学校の生徒指導担当教員が、小学校6年生を対象に、中学校での生活について授業を行う予定です。

